

# 「NPO法人『安心安全想いのまちづくり』の

群馬県遊技業協同組合（以下群遊協）が模範事業として称賛し、全面的に支援しているのが、傘下支部組合である高崎遊技場組合が設立した特定非営利活動法人活動である。そのNPO法人「安心安全想いのまちづくり」が行う地域安全活動は、近年多発する児童・生徒の被害事件から地域の子どもたちを未然に守り、広く公益に寄与するものとして高い評価を得た。その取り組みは群馬県のみならず、他県でも評価され「青パトの輪」は全国に広がっている。

● 群馬県遊技業協同組合  
----- 組合員数 215人



金山 茂 理事長

1人の支部組合員の治安（防犯）に対する熱き思いが、組織を動かし、人を動かし、社会のために見事に結実した成果とすることができます。この輪が、群馬県内からさらに全国に広がることを祈っています。



## 犯罪防止協力賞

### 選考理由



社会貢献活動審査委員会 委員  
磯 敬夫 氏

「子どもの安全を守る」活動は、現代の最大関心事の1つと言えます。このような不幸な時代を予測してか、平成15年（2003年）12月に「公益は市民が支える」との観点から、NPO法人「安心安全想いのまちづくり」を立ち上げ、活動を開始したことは、時宜を得たものでした。その後、青色回転灯を装備した防犯パトロールカーでの安全パトロールは全国に知れ渡っています。今後ともこの活動を積極的に展開されることを期待します。

昨年度は231日  
延べ462人が出動

高崎市内では、小学校の下校時間が近づく、通学路に1台のパトロールカーが現れる。NPO法人「安心安全想いのまちづくり」が所有する、青色回転灯が設置されたパトロールカーだ。

学校就業日の毎日、NPO法人職員と高崎遊技場組合員ホール従業員が2人1組となり青色回転灯車に乗車。市・町内の遊技場、幼稚園、小中学校周辺のパトロールを行う。パトロール従事者は、群遊協が配布したパトロール隊員ジャンパーと帽子を着

用。特に、14時から17時の3時間は学校周辺を重点的にまわり、街頭犯罪防止活動に取り組んできた。不審者（車）を発見した場合には、警察への通報も行っている。

平成18年（2006年）に行ったパトロール日数は231日、延べ462人を投入して周辺地域のパトロールを行った。

全国的な児童・生徒の被害事件の多発により、小学校等周辺のパトロール活動を強化した結果、学校関係者や父母などの地域住民から、感謝の声が多く寄せられている。

### 平成18年度の事業内容

事業名	事業内容	従事者の人数
安心、安全まちづくり街頭活動事業	地域、安全パトロールの実施	延べ300名
地域職域の暴力追放・防犯意識高揚事業	関係機関団体等との連携による暴力追放、防犯活動	延べ60名
地域安全ボランティア団体の活動支援事業	地域安全ボランティアグループの基盤強化支援	延べ60名
組織犯罪等に対する関係機関への協力事業	組織犯罪の早期解決協力活動	延べ60名
明るく文化的なまちづくり推進事業	文化的な公共空間の現場作り活動	延べ60名



### 「公益は市民が支える」の観点で 特定非営利活動法人を設立

NPO法人「安心安全憩いのまちづくり」が設立されたのは平成15年(2003年)12月のこと。当時、少年による凶悪犯罪や組織犯罪が横行しはじめ、わが国の治安悪化が嘆かれていた。実際に、市内でもひったくり等の犯罪が増加傾向にあり、市民生活に不安感を与えていた。

市民が安心して暮らせるためには、今こそ、各種犯罪の防止対策として地域安全活動を推進し、明るく文化的な街作りに貢献することが必要であると、高崎遊技場組合の有志が集まり、「公益は市民が支える」という観点から、特定非営利活動法人の設立を申請。高崎遊技場組合総会で満場一致の承認を受け、活動を開始した。

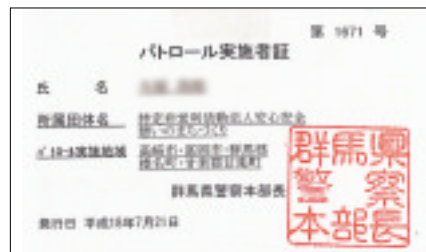
法人設立とともに、防犯パトロール車(白黒車両)を購入。高崎遊技場組合員と

NPO法人職員が2名1組になり、週3~4回のペースで、幼稚園、小中学校、地域住宅街や遊技場周辺のパトロールを開始。地元新聞、業界紙等から、「時宜を得た事業活動」と高い評価を得た。

平成17年(2005年)4月には、使用していた防犯パトロールカーに警察の認可を受け青色回転灯を設置。同年6月には運転要員である遊技場組合員が、警察本部長から「パトロール実施者証」の交付を受けた。

同年秋、小学低学年の児童が下校時に被害に遭う事件が連続発生したことを受け、「子どもの安全を守る」活動に重点を置き、11月以降は、小学校等周辺のパトロール活動を強化し、学校関係者、地域住民から、期待とともに広く支持を受けている。近年、回転灯を装備したパトロールカー導入のニュースがメディアでも頻繁に取り上げられ、全国に広がりを見せている。

法人化した高崎遊協の取り組みは、先駆けとして今後ますます注目を集めていくことだろう。



パトロールの様子(上)群馬県警察本部長より発行されたパトロール実施者証(下)

### 社会貢献活動の現場より 「“ありがとう”の元気な声が、充実感に結びつきます」

群遊協傘下の高崎遊技場組合が、犯罪の防止対策と地域安全活動を推進して、安心で安全な街作りに貢献することを目的に、NPO法人「安心安全憩いのまちづくり」を立ち上げたのは、平成15年(2003年)12月5日のこと。以来3年余の活動が認められ、今回の受賞となったことに関係者一同心から喜んでいるところです。当初は「安心安全憩いのまちづくり」と大命題を掲げたものの、活動の必要性・重要性に対する意識がなかなか各組合員に浸透せず、その活動は主として組合長以下役員に限定されておりましたが、組合主導で組合員を地域の防犯活動に参加させたり、警察署の担当係官の講話を拝聴したりするなかで、次第に防犯に対する認識も高まり、今では組合員の方から色々な施策の提案がなさ

れるまでになりました。

平成17年(2005年)11月以降の全国的な児童・生徒を対象とした犯罪の多発により、その被害防止の観点から、小・中学校、幼稚園を中心にした周辺パトロール、下校時パトロール等を主に実施していますが、生徒や児童の皆さんから「ありがとうございます。」と手を振ってもらったり、父母や先生方からも「お世話になります。」と丁寧なねぎらいの言葉をいただいています。なかでも、小学生の子どもたちから直立不動、笑顔で敬礼をされたときなど(彼らは警察のパトカーと思っているらしいのですが・・・)、思わず自分の目じりも下がり、心の充実感に浸ったりしております。最後に、当組合の活動を高く評価していただき深く感謝申し上げます。

(高崎遊技場組合 菅谷 利夫)



生徒の下校時間に合わせて、小学校校門でパトロールを実施